

学科紹介パンフレット 2025

【学校生活・進路】

入学時のホームルームは普通科・美術科・スポーツ科学科と一緒に、共通科目の一部も他学科の生徒と一緒に授業を受けます。文化祭や体育祭などもクラス単位となるので、様々な学科と交流をしながら高校生活を送ることができます。

専門科目は音楽科のクラスで受けます。同じ目標をもった音楽科の生徒たちから影響を受けながら、専門的な能力を高めることができます。

部活動の入部については学科の指定は無く、すべての学科の生徒と一緒に活動します。

3年次の履修科目を選択する際、自由選択科目の選び方によっては、音楽系大学以外にも進学でき、多様な進路選択ができるのも魅力です。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	集中
1年次	現代国語②	言語文化②	歴史総合②	数学Ⅰ③	化学基礎②	体育②	保健①	英語コミュニケーションⅠ③	情報Ⅰ②	論理表現Ⅰ②	音楽理論②(分)	演奏研究①(分)	ソルフェージュ②(分)	専攻実技①(分)	器楽①(分)	声楽②(分)	総合的な探究の時間①	LHR①															
2年次	公共②	生物基礎②	体育②	保健①	家庭基礎②	文学国語②	数学A②	物理基礎/地学基礎②	英語コミュニケーションⅡ④	音楽理論①(分)	演奏研究②(分)	ソルフェージュ②(分)	専攻実技②(分)	器楽①(分)	声楽②(分)	総合音楽①(分)	総合的な探究の時間①	LHR①	自由選択	総合舞台芸術①													
3年次	地理総合②	体育③	論理国語②	英語コミュニケーション英語Ⅲ④	自由選択(0～10) ソルフェージュ探究②／ 専攻実技② その他										音楽理論②(分)	演奏研究②(分)	音楽史②	ソルフェージュ①(分)	器楽①(分)	総合音楽①(分)	総合的な探究の時間①	LHR①											

過去5年間の主な進学先（音楽科）

	令和6年度卒業生	令和5年度卒業生	令和4年度卒業生	令和3年度卒業生	令和2年度卒業生
東京藝術大学	2名（打楽器・声楽）	1名（声楽）	1名（ヴァイオリン）	3名（ピアノ・ホルン・声楽）	既卒1名（チェロ）
国立音楽大学	4名	6名	11名	12名	6名
昭和音楽大学	8名（特待生を含む）	6名（特待生を含む）	9名（特待生を含む）	8名（特待生を含む）	10名（特待生を含む）
東京音楽大学	6名	4名	4名	4名	10名
桐朋学園大学	3名	1名	1名	0名	0名
武蔵野音楽大学	0名	4名	1名	1名	1名
洗足音楽大学	0名	3名	3名	4名	3名
その他	沖縄県立芸術大学1名	東京学芸大学1名 お茶の水女子大学1名	愛知県立芸術大学1名 横浜国立大学1名	玉川大学1名	日本大学3名、明星大学1名

（令和7年度現在指定校推薦枠のある学校・・・国立音楽大学、昭和音楽大学、東京音楽大学、桐朋学園大学、武蔵野音楽大学、洗足学園音楽大学、東邦音楽大学など）

【専門科目】

音楽科では専門科目の授業を多く設置し、音楽の基礎的な能力を高めるとともに、大学受験に向けての準備や、学科の演奏会に向けてのレッスンなどを行います。

♪ 専攻実技 ♪

一人毎週1時間の個人レッスンをを行います。進路に則した内容を3年間かけて学ぶことはもちろん、前期・後期に一回ずつ行われる実技試験や校内・校外演奏会などに向けてそれぞれのレベルに合った内容のレッスンを行います。

現在習っている先生のレッスンをやめる必要はなく、ダブルレッスンという形をとっている生徒も多くいます。学校の授業の一つとして、プロの演奏家や大学の講師の先生からレッスンを受けることができるのが魅力です。授業の一環なのでレッスン代の徴収等はありません。

♪ ソルフージュ ♪

1・2年次生は毎週2時間、3年次生は毎週1時間または3時間の授業で、グレード別の4グループに分かれて行います。主に聴音を中心とした授業で、前期と後期に試験を行い、その都度グレード分けを行います。

これまで学習してきたことのある生徒は大学入試の過去問に挑戦したりもしますが、これまで学習したことのない人は記譜の仕方やリズムなどの基本的な内容から取り組み、音楽の基礎能力を高めていきます。聴音以外には視唱なども行います。

♪ 音楽理論 ♪

主に楽典を中心に学習します。2年次以降は和声学も学習します。

♪ 音楽史 ♪

音楽の歴史を学習します。

♪ 器楽(副科ピアノ) ♪

ピアノ専攻以外の生徒が受講する科目です。毎週1時間2名でグループレッスンを受けます。前期・後期に一回ずつ試験が行われ、自由曲を演奏します。それぞれのレベルに合った内容でレッスンを進めていくので、これまでピアノを習ったことのない人は、基礎的な内容から取り組みます。大学受験で副科ピアノの実技試験が必要な人はこのレッスンで3年間かけて必要な技術を身に付けることも可能です。専攻実技同様、レッスン代の徴収等はありません。

♪ 器楽(ピアノアンサンブル) ♪

ピアノ専攻の生徒が受講する科目です。毎週1時間レッスンがあり、1年次生は連弾、2年次生は2台ピアノ、3年次生は連弾または2台ピアノの発展的な内容を学習します。前期・後期に一回ずつ試験を行います。

♪ 演奏研究(オーケストラ/クワイア) ♪

オーケストラ楽器専攻の生徒は、楽器ごとに先生から指導を受けながら、オーケストラを実習します。それ以外の専攻生は、オペラや合唱付きオーケストラの公演に向けて、声楽を中心に勉強します。

♪ 総合音楽(クラスオケ) ♪

同じ年次の音楽科の生徒でオーケストラを実習します。2年次進級時に楽器希望をとり、ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・フルート・オーボエ・ファゴット・クラリネット・ホルン・トランペット・トロンボーン・打楽器・ハープ・チェンバロのいずれかのレッスンを受けます。ほとんどの生徒が初心者状態から始めるので、2年次は楽器別のグループレッスンとなり、3年次で合奏の実習、ホールでの演奏を行います。楽器はすべて学校楽器を貸与します。

♪ 声楽 ♪

声楽の基礎・独唱曲・合唱曲・コールユーブンゲン等を行います。特に2年次の声楽では、海外姉妹校交流研修旅行で演奏する作品を中心に勉強します。また2年次末に行われる校外演奏会に向けての合唱作品にも取り組みます。

【演奏会】

音楽科では年間を通して様々な演奏会を催しています。年次ごとのものや、音楽科全年次で行うものもあります。ソロから合奏まで、様々なかたちで演奏会を経験することができます。

(令和7年度の予定)

8月・・・オペラのタベ(杜のホールはしもとで、モーツァルト作曲「魔笛」を2・3年次生全員で取り組みます)

10月・・・定期演奏会(杜のホールはしもとで、専攻生オーケストラや合唱を行います。オーディションで選抜されたソロや室内楽の発表も行います)

11月・・・1年次生校内演奏会(本校芸術表現室にて、1年次生が全員ソロを演奏します)

12月・・・3年次生卒業演奏会(杜のホールはしもとで、3年次生が高校生活の集大成としてソロや合唱、クラスオケの演奏を発表します)

3月・・・2年次生校外演奏会(杜のホールはしもとで、2年次生が全員ソロを演奏します)



♪校内演奏会や校外演奏会、卒業演奏会などはソロを演奏するだけではなく、企画・運営もすべて生徒だけで行います。プログラムの作成や、舞台転換など演奏以外で大切なことも学んでいける行事です。どの演奏会も保護者や在校生が自由に鑑賞できます。

【海外姉妹校交流研修旅行】



2年次の秋休み(10月)に、オーストリアとハンガリーをめぐる研修旅行を予定しています。

オーストリアでは教会での奉納合唱や市内観光を行い、ハンガリーでは主に「コダーイ音楽学校」で、現地の先生による個人レッスンや演奏会(全員での合唱、オーディションで選ばれた生徒のソロや室内楽)、授業の見学、交流パーティーなどを行います。

参加は希望制で、積み立てなどにより50万円程度を徴収する予定となっています。



【音楽科 Q & A】

《学校生活について》

Q. 音楽科に入ったら楽器を購入しなければなりませんか？

A. 専攻する楽器(大型楽器のコントラバスや打楽器以外)については入学後、購入をお奨めします。特色検査(実技)の際は借りている楽器等でも構いません。

Q. もともと習っている先生のレッスンはやめなくても大丈夫ですか？

A. やめる必要はなく、ダブルレッスンで勉強している生徒もいます。校内の先生とはどちらをメインにしていくか相談して、レッスンを受けることができます。

Q. 音楽科に入学したら全員音楽大学に行かなくてはなりませんか？

A. 令和5年度よりカリキュラムが変更になり、一般科目もしっかりと勉強ができます。3年次の自由選択科目によっては音楽大学以外の一般大学(私立文系など)も受験可能なので、自身の進路にあった選択科目を選択してください。音楽科の専門科目については、従来通り音楽系の大学の受験準備が可能な科目を設置しています。

Q. 管楽器や、声楽専攻で入学した際は部活動に必ず入るのですか？

A. 必ずしも管楽器の生徒が吹奏楽部、声楽の生徒が合唱部に所属しなければならないというわけではありません。入部に関しては自由で、他学科の生徒も一緒に活動します。

Q. 入学後の専攻実技の先生は自分で希望ができるのですか？

A. 希望進路等を考慮してこちらで決め、原則3年間同じ先生につくこととなります。

Q. ソルフエージュや副科ピアノは入学前に習っていなければなりませんか？

A. 入学者選抜で課されていないので特に習う必要はありません。入学後に、基礎から学んでいくことができます。

Q. 徴収金ほどの程度ありますか？

A. 学科運営費(毎年7万円前後)、入学時のみ音楽科特別振興費(1万5000円)の徴収があります。その他希望者のみ演奏会のDVD購入や、姉妹校交流費(50万円程度)があります。

《入試・特色検査(実技)について》

Q. 特色検査(実技)では必ず制服を着て演奏しなければなりませんか？

A. 演奏しやすい正装で構いません。(着替える時間等はありません。)

Q. 特色検査(実技)はどれくらい演奏できたらいいですか？選曲はどのようにしたらいいですか？

A. 課されている課題、エチュードで求められている能力をみます。選曲に関しては、難しい曲の得点が高いということは特にありませんので、自分が演奏できる内容の選曲をしてください。また、専門的なレッスンを受けている受験生がほとんどなので、事前に個人レッスン等を受けて臨むとよいでしょう。

Q. 特色検査(実技)の前の音出しの時間はありますか？

A. 例年音出しの時間は設けていますが、時間は未定です。

Q. 会場はどこですか？

A. 本校の芸術表現室で行う予定ですが、施設や楽器の状態によって変更の可能性があります。

Q. 入試の時にまだ楽器を買っていない場合はどうすればいいですか？

A. ピアノ、電子オルガン、ハープ、マリンバに関しては学校の楽器を使用してもらいます。コントラバスに関してはどちらでも構いません(貸し出しもあります)。マレット、スティック、コントラバスの弓、スネアドラムやスネアのスタンドは各自持参してください。

Q. 楽器によって入学人数は決まっていますか？

A. 決まっていません。年度によって楽器の人数はまちまちです。